



TIAニュース



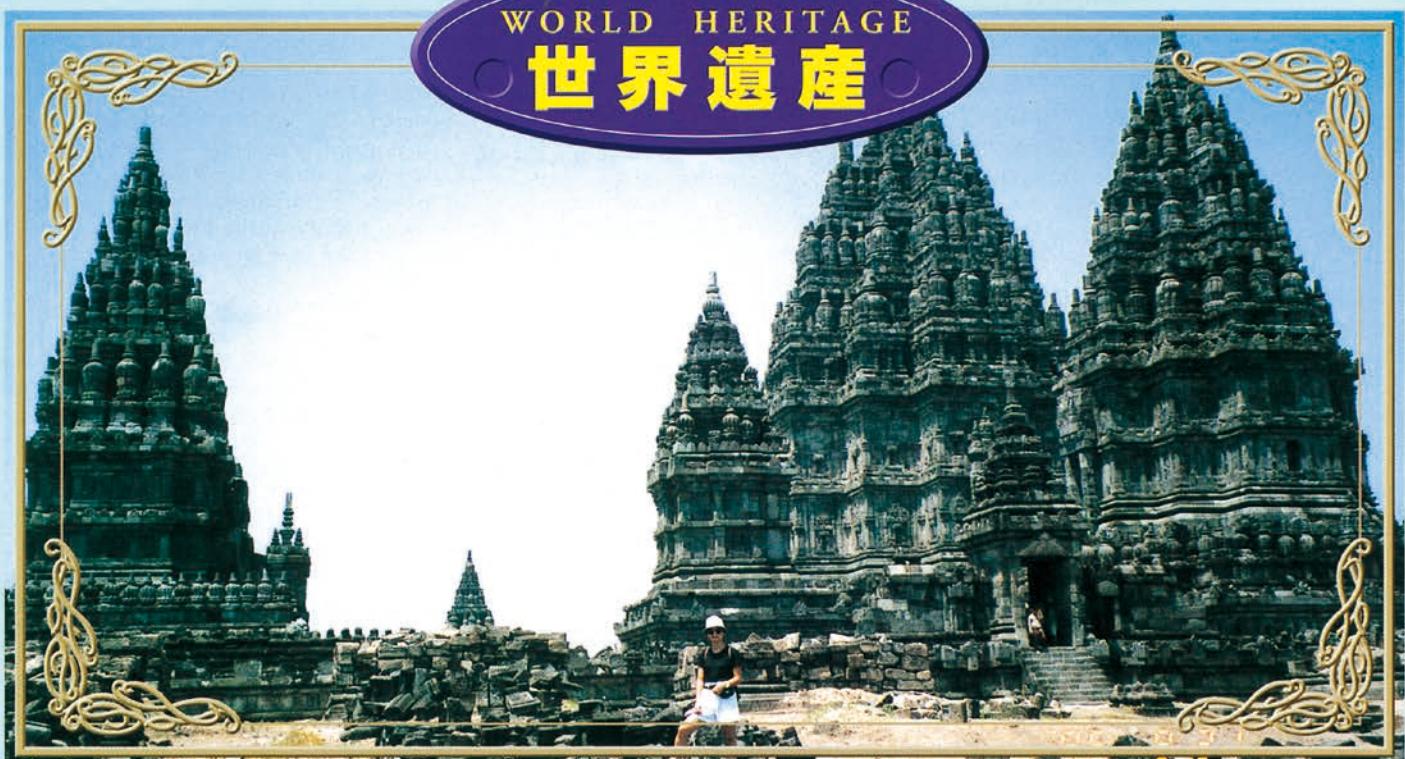
財団法人栃木県国際交流協会
Tochigi International Association

やあ!!

1999
JULY
No.62

7

WORLD HERITAGE
世界遺産



▲インドネシア共和国にあるプランバナン寺院遺跡群。東南アジア最大規模のヒンドゥー教寺院であるシヴァ神殿をはじめ、プラスマ神殿、ヴィシュヌ神殿などが立ち並ぶ。9世紀中頃に建てられたこれら神殿の周囲には、今なお半壊したペルワラ（小祠堂）が取り囲み、寺院群を構成している。世界遺産指定。

青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介
シリーズ NO. 14

◆ J E T コーナー ギラット・ベンドールさん（アメリカ出身）

◆ ようこそとちぎへ 栃木県海外技術研修員

◆ トピックス 新規留学生のためのガイダンス開催

日中青少年書画入選作品展開催

結核予防パンフレット無料配布中

（栃木県保健福祉部作成の3カ国語併記）

ソロモン諸島

TIAホームページ

URL <http://www.pto.co.jp/tia/>

JETコーナー

外国語指導助手
ギラット・ベンドールさん
(アメリカ出身)

昨日、アメリカへ帰る航空券を買ったのですが、宇都宮での2年間がこんなにも早く過ぎ去ってしまったなんて信じられませんでした。自己紹介をします。私は、栃木県内の公立高校で英語を教えていたJETプログラムのメンバー、ギラット・ベンドールです。

アメリカ北東部のボストンにあるブランディス大学を卒業して間もない1997年7月に初めて日本にきました。大学では美術史とイタリア語(1学期間イタリアのフィレンツェに留学)を勉強しましたが、ずっと日本文化には興味がありました。アメリカでは、よく日本は日本人以外には理解しがたい規則や習慣が多い、閉鎖的で秘密めいた社会として描写されています。このイメージだけから日本への好奇心が強くなり、大学最後の年に日本語を習い始め、ちょうどその頃、日本政府主催のJETプログラムについて知り、応募しました。

初めて来日した時は知り合いは1人もいませんでしたが、幸いなことに何の問題もなく、学校や近所の人たちなどからとても親切にしてもらいました。あるお店のオーナーは、私が宇都宮に来て初めての週の夜、道に迷っていた時、車で家まで送ってくれました。

言葉、食べ物、日常生活にいたるまで私の国アメリカとはかなりの違いはありますが、適応しようと努力してきました。しか



し日本とアメリカの最大の違いは、音楽やファションや寿司といったものではないということがわかった。これから話す2つのことから、私は日本社会がより理解できるようになりました。

まず驚いたのは、日本人がとても恥ずかしがり屋だということです。授業中、生徒にとても簡単な質問をしても、40人中1人として手を上げようとはしないのです。アメリカではこうした“恥ずかしがり屋”はほとんど見かけません。

同様に、日本人の行動や話し方には“遠慮”というものがあります。“遠慮”は、本心からとか、礼儀からとか、理由は様々だと思いますが、素直に自分の感情を表現することは必ずしも良い結果を生むとは限らないことを学びました。

この2年間、私は多くのことを学び、とても成長したと思います。富士山に登ったり、長野オリンピックを見たり、茶道や日本舞踊を習ってみて、私が日本に来たばかりの時に抱いていた日本のイメージとは違う日本的一面を知ったような気がします。私自身が偏見にとらわれず物事を素直に受け入れられる性格で良かったと思います。日本で知り合った親切な友人たちに感謝しています。世界中の人々が先入観にとらわれず物事を柔軟に考えられるようになれば素晴らしいと思います。

Gilat Ben-Dor

Look Around and You Will Learn

Yesterday I bought my plane ticket back to America, and I couldn't believe my two years in Japan, in Utsunomiya, had passed by so quickly. Let me introduce myself. My name is Gilat Ben-Dor, and I am a member of the JET Program, which employs me to teach English at various public high schools in Tochigi Prefecture.

I first came to Japan in July 1997, having just graduated from Brandeis University in America's northeast city of Boston. I had studied Art History and Italian (and even went to Firenze, Italy, to study for a semester), but have always been interested in Japanese culture. In America, Japan is often portrayed

as a closed and mysterious society, with many rules and customs that are hard for outsiders to understand. From this image alone, my curiosity about Japan grew, and in my final year at University, I began studying Japanese. That is also when I heard about the Japanese government-sponsored JET Program, and applied.

I arrived in Japan not knowing anyone yet, which luckily was not a problem, because I was treated so kindly by most everyone around me, from my school and neighbors, to the shopkeeper that closed his store to drive me home I got lost walking one night, in my first week in Utsunomiya. Although the language, food, and general lifestyle were very different than what I was used to back home, I tried my best to adjust. But the biggest differences I found between Japan and the U.S.A. had nothing to do with music, fashion, or sushi. Instead, I found that two elements of behavior taught me much about Japanese society.

First, I was surprised by how shy most Japanese people are. When I asked even a simple question to my high school students during class, out of 40 students, not one student dared to be the first to raise their hand. In America, this element of "hazukashigariya", or shyness, is not the standard.

Similarly, I discovered another behavioral element that explained much about people's actions and even their way of speaking here. That element is "enryo", or hesitation. Whether that hesitation is real or just an act of politeness seems to vary, but observing ways of "enryo" all around me taught me that a harsh or direct way of expressing one's feelings does not always get the best results.

In my two years here, I feel I have learned and accomplished much. From climbing Mt. Fuji and seeing the Nagano Olympics, to taking regular lessons in Sado (tea ceremony) and Nihonbuyo (traditional dancing), I feel I have come to know a very different side of Japan than the image I first had when I arrived. I am grateful for my open mind, and for the kind Japanese friends I have made, and hope that people everywhere will think twice before just believing images in their mind.

(英文のみ本人)

TIAライブラリー案内

(貸出のお問い合わせはTIAまで)

●ODAって何だろう 政府開発援助の立場から



日本の政府開発援助(ODA)は世界第1位の規模であり、160を超える国と地域に対して援助を行われている。日本人にとって、国際社会が直面する現状を知り、様々な問題についての理解を深

め、国際協力・開発援助の重要性について認識を深めていくことが必要である。

今日の日本において求められる、開発教育の推進と充実のための教材。(外務省企画、財)国際協力推進協会・(株)日本テレビビデオ制作)

●若き力を世界のために 開発教育／青年海外協力隊

いま、「開発教育」について、学校で、行政で、職場で、そして民間援助団体(NGO/NPO)で、議論され、研究もされている。これまで、NGOなどが海外活動で蓄積した成果やノウハウを日本国内で紹介することによって、活動支援の裾野を



広げることに視点が向けていた。しかし、本書では、作者の見聞や体験した事象を紹介することにより、国際貢献を目指す若者の動機作りの一助を目指している(五月女光弘著)。

TIAライブラリー利用のご案内
図書・ビデオ等の貸出券をとちぎ国際交流センター1階カウンターでお作りします。資料の貸出期限は、図書・ビデオ等を含めて2週間、貸出点数は1回5点までです。

ようこそとちぎへ

welcome to Tochigi

ラオス



①ババッソーン・サイコシー ②25・女
③国際協力事業団 ④臨床検査技師（血液検査及び骨髄像検査）⑤栃木県がんセンター



平成11年度 栃木県海外技術研修員

6月3日、今年度の栃木県海外技術研修員10名が入国した。日本語研修を経て専門分野の研修に入る。

出身国名

- ①氏名②年齢・性別③推薦機関
④研修科目⑤研修機関（敬称略）



平成11年6月18日に行われた栃木県知事表敬

ザンビア



①ウィルフレッド・ガマ ②30・男 ③国際協力事業団 ④自動車整備（点検整備の能率的な運営方法、電装整備技術）⑤有吉田自動車整備工場

グアテマラ



①アナ・マリア・レスピア・マサリエゴス・ペレス ②39・女 ③国際協力事業団 ④産婦人科医師（妊娠・分娩・産褥及び帝王切開分娩術）⑤自治医科大学附属病院

ネパール



①サンタ・クマール・シェレスタ ②37・男 ③国際協力事業団 ④養殖（養殖技術の基礎知識及び養殖経営技術）⑤栃木県水産試験場

ブラジル



①永田・ジョゼ・建也 ②27・男 ③在伯栃木県人会 ④水処理（工場廃水処理技術及び下水浄化処理技術）⑤栃木県下水道管理事務所

中華人民共和国



①許 虹 ②35・女 ③浙江省人民政府 ④看護婦（病棟看護技術及びナースステーションの管理技術）⑤済生会宇都宮病院

ブラジル



①三木・イルカ・長沢 ②27・女 ③在伯栃木県人会 ④口腔外科（歯科手術、歯列矯正、レーザー治療技術）⑤自治医科大学附属病院

中華人民共和国



①周 芳 ②21・女 ③浙江省人民政府 ④教育管理（外国语教育、教育管理知識及び語学教育技術）⑤栃木県総合教育センター

中華人民共和国



①韓 煉 ②27・男 ③浙江省人民政府 ④ホテル管理（ホテルの客室、フロント、レストランの業務及び管理）⑤宇都宮グランドホテル

中華人民共和国



①施澤彬 ②33・男 ③浙江省人民政府 ④果樹（梨・桃等の早期判定技術及び高品質技術）⑤栃木県農業試験場

ソロモン諸島 SOLOMON ISLANDS

国名のソロモンは、紀元前10世紀のヘブライ王の名にちなんだ。オーストラリアの北東部に位置し、大小100以上の島々からなる。面積は日本の四国の1.5倍程度。産業は農業・漁業が中心。主要作物はココヤシ、ヤムイモ、タロイモなど。カツオやマグロなどの漁獲も盛ん。経済が一次産品（魚類、木材、バーム油など）の輸出に依存しているため、国際価格下落・自然条件などの影響を受け、国際収支の赤字が続いている。

案内人

矢野 学さん (28歳・河内町在住)



大学1年生の時に旅行で行ったネパールで地元の学校に交流を申し出、交流するきっかけをつくる。青年海外協力隊に教育分野があることを知り、卒業後の進路を協力隊1本に絞って応募。

1995年7月から1997年7月までの2年間、ソロモン諸島マライタ州立アリゲゲオ中学高等学校で理科教師として活動した。

義務教育がない国

ソロモン諸島の場合、義務教育というのではないのですが、小学校は無料で通えるみたいんですよ。それで、家の手伝いが忙しくて学校に通えなかったとか、勉強が難しくてついていけなかっただとか、何か理由がある場合、同じ学年を繰り返して履修するということも可能なんです。ですから、日本のように、勉強についていけなくともとりあえず上の学年に進級してそのまま卒業してしまうということはないですね。

日本同様、小学校は6年で、中学校は3年なんですが、小学校から中学校に進級する時に試験があり、進級試験に失敗すると上の学校には進めないんです。また、中学校以上は学費が必要になってきます。

学校は月曜から金曜までで、中学校の場合は1日8時間授業です。小学校で同じ学年を繰り返す子がいるため、中学1年といつても、下は12歳から上は17歳というように年齢に幅があります。

男女交際厳禁！

イギリスの植民地だった影響で、学校制



▲教え子の中学生と矢野さん
後方が赴任先の学校

度も英国的なところがあり、中学校からは寄宿生活をして学校に通います。私のいた学校では、朝5時45分の起床時から夜9時の消灯時間まで、生徒の1日の生活時間が分単位で細かく定められていました。校則も日本顔負けという感じで、学校的器物を壊してはいけませんとか、けんかをしてはいけませんとか、部屋を使ったら掃除をしましょうとか、学寮の中に飲食物を持ち込んではいけませんとか、こんなことまで校則で定めなくてもいいのにと思うような規則もありましたね。もちろん、男女交際を禁止する規則もいろいろあります。学校は共学なので、教室の中では性別に関係なく授業を受けるわけですが、強制しているわけでもないのに、男子は男子、女子は女子、と、なんとなく分かれて座っています。女子生徒と男子生徒が木陰で2人きりで話などしていようものならたいへんですよ。校則違反ということで、罰則が待っています。

校則違反をする生徒はあまりいないんですけど、やはり年頃ということもあって皆悶々としているのがわかるわけですよ。それで、卒業時くらいいいだろうと、同僚の先生方と一緒にダンスパーティーを実施したんです。生徒たちは喜んでいましたが、あとで問題になってしまいまし

たね、やっぱり。

真剣な眼差しの生徒たち

生徒たちは勉強に対する意欲が旺盛で、皆まじめに授業に取り組んでいます。居眠りする生徒もないし。教師は尊敬すべき存在ということで、教師の言うことを生徒たちはよくきますよ。授業の準備や教師の用事も進んで手伝ってくれますし。授業開始前に生徒がうるさく騒いでいても風紀委員が静かにさせてくれるので、向こうにいる2年間で生徒に対して怒鳴って注意したということはただの1度もありません。

机や椅子の数が足らないので、教室の床に伏してノートをとる子がいたり、教科書も足りないので、生徒数人で1冊の教科書を使ったりしていました。教科書は学校からの貸与で、授業終了後に回収し、鍵のかかる部屋に保管しています。ノートは学費に含まれており、学校から支給されます。

日本と違うのは、音楽とか美術などの芸術関係の授業がないことですね。反面、宗教とかビジネスとか、日本の中学や高校であまりやらないような授業もあります。私の教えていた理科はといえば、日本の理科の科目に保健衛生が含まれるものでした。教科書を見ればわかるんですが、内容が結構高度なので、こちらも勉強しながら授業



▲授業態度は真剣そのもの



矢野さん
▲水溶液を調べる実験の指導をする



を進めていきました。自分で考える力がつくように、実験を通した体験学習に力を入れていたのですが、生徒たちも実験を楽しみにしていたようです。海外からの援助でそれなりに実験用具があったんですよ。もちろん、現地にある日用品も実験には利用してました、食塩とか、砂糖とかね。

貝殻・イルカの歯がお金の替わり

ソロモン諸島では、首都はともかく、地方では自給自足の生活が営まれていて、あまり貨幣が流通していないので、いまだに物々交換でものを買う姿が見られます。貝殻細工やイルカの歯がお金の替わりに使われることもあります。貝殻は焼くと色が変わんですよ。それをたくさんつないで磨いて巨大なアクセサリーのように仕上げるんです。この仕上がったものはシェルマネーと呼ばれ、ものを買うことができるんです。また、イルカの歯もお金替わりになるので、イルカの歯をつないだペンダントなんて持っていたら、それだけで一財産ですね。でも、これは地方の話で、首都では現金が使われており、銀行もあります。ただ、見た

マネー
お
金
の
替
わ
り
・
シ
ェ
ル



ところ銀行はコンピューター管理になっていないようすけれど。ところで、ソロモンドル紙幣の裏面は、伝統文化を表す絵柄になっているんです。また、コインは基本的には丸いんですが、1ドルコインだけはなぜか7角形をしているんです。7角形硬貨というのは世界的に見ても珍しいのではないでしょうか。



▶祭日の民族舞踊

いまだに残る男尊女卑

ソロモン諸島では、男尊女卑が残っているんです。結婚にしても「嫁を買う」みたいな意識がまだにあるんですね。男性がプラプラしていて女性が働いているのを見て、男性に理由を聞いたことがあるんですが、返ってきた答えが「俺は金出してこいつ（妻）を（妻の）親から買ったんだから」。移動の交通手段が乗合バスならぬ乗合トラックしかないんですが、トラックがパンクすると女性は全員おろされるんですよ。女性よりも低い位置で男性が仕事（修理行為）をするのは駄目だという理由で。学校でも、家庭科は女子のみが学ぶ教科でした。ただ、私の任期中に徐々に学校も変わってきて、希望すれば男子でも家庭科の授業が受けられるようになってきていますけれど。

テレビもない、電話もない

ソロモン諸島は、テレビも電話もないんです。伝達手段と言えば、1局だけある国営ラジオ局と無線機のみ。生活の中にも家電製品のようなものは入っていません。

食料品は週に何日か市場がたつので、そこで調達します。惣菜のようなどきあいのものはないので、食材を買って自分で料理しなければ、ものが食べられません。洗濯も1枚1枚手洗いです。

日本＝ラジカセ・腕時計

ソロモン諸島はダイビングスポットが多いため、オーストラリアあたりから観光客がたくさん来るんです。



私も学校が休みの時など、近所の海でシュノーケリングをしてました。でも、こうしたダイビングスポットに日本からの観光客はほとんど来ません。日本人を見かけることがまずないこの国の子供たちが日本に持つイメージは「優秀な機械を作る国」。ソロモンの子供たちの憧れは、ラジカセ・自転車・腕時計なんですが、そのうちラジカセと腕時計は日本製が性能が良いということが理由のようです。



◀週末、任地近くの海でシユノーケリングを楽しむ矢野さん

◀週に何度か市がたつ

データ



青は太平洋と水資源、緑は国土、森林、収穫を表し、黄は太陽を象徴する。青地上の五つ星は国の5州を表す。

ソロモン諸島

- | | |
|--------|--------------------------------|
| ① 面積 | 208,896km ² |
| ② 人口 | 40万人（97年） |
| ③ 首都 | ホニアラ |
| ④ 主要言語 | 英語、ピジン語 |
| ⑤ 民族構成 | メラネシア系94% |
| ⑥ 主要宗教 | キリスト教（イギリス国教会、福音派、カトリック） |
| ⑦ 通貨 | ソロモン・ドル |
| ⑧ 元首 | イギリス女王 |
| ⑨ その他 | 協力隊の派遣開始は1979年
隊員の派遣人数 227人 |

TOPICS

新規留学生のための ガイダンス開催

TIAでは、栃木県内の大学・短大・高等専門学校での学生生活をスタートさせた新規留学生を対象に、5月29日、ガイダンスを開催した。

とちぎ国際交流センター多目的ホールで行ったガイダンスには、県内の大学等から留学生、大学関係者ら約80名が参加。栃木県及びTIAの留学生に関する事業説明の後、先輩留学生たちによる留学生活の体験談や新規留学生に対するアドバイスをシ

▼先輩留学生の話を熱心に聞く新規留学生



ンポジウム形式で行った。パネリストは、足利工業大学の李 昌潤さん（韓国）、白鷗大学の鄭 安君さん（台湾）、宇都宮大学の李 尚珍さん（韓国）の3名で、留学生活の上の問題点や解決法、日本人学生との交流の仕方などを述べてくれた。

ガイダンス終了後は、宇都宮市内「ニューミクら」で懇親パーティーが催され、学生同士が情報交換をする姿が見られた。

知ってて得する なんでもQ&A

〔「開発教育」って、何ですか？〕

Q. 最近「開発教育」という言葉をよく耳にしますが、どういう意味ですか。

A. 開発教育とは、グローバルな観点から物事を学び、考え、行動することを目標とした教育です。具体的には、多様性の尊重、

開発問題の現状と原因、地球的諸問題の関連性、世界と私たちのつながり、開発問題への取り組み方を学び、それを個人的なレベル、社会的なレベル、さらに地球的レベルで実践するために、社会制度の変革を幅広く人々に訴えていく活動です。

また、先進工業国、発展途上国に関係なく、私たち一人ひとりが開発をめぐる様々な問題を理解し、望ましい開発のあり方を考え、共に生きることのできる公正な地球社会づくりに参加することをねらいとしています。

★結核予防パンフレット

「結核に注意しましょう」無料配布中



栃木県保健福祉部は、日本語、スペイン語、ポルトガル語の3か国語併記の結核予防パンフレットを作成した。

結核の概要説明等のほか、治療薬やその副作用などについても紹介。また、各言語の最終ページには検査に必要な情報が書き込めるようになっている。

このパンフレットは県内の健康福祉センターや保健所等で無料で配布している。

★DISTRIBUCION GRATUITA DE LA GUIA DE "PRECAUCIONES CONTRA LA TUBERCULOSIS"

日中青少年書画入選作品展

中国・浙江省と友好関係にある栃木県、福井県、静岡県の日本側3県と、浙江省内で募集した、絵画と書の入選作の作品展が、5月14日から16日まで、宇都宮市にある栃木県総合文化センターで開催された。展示作品は栃木県からの入選作17点を含む61点。

この作品は、昨年、3県の友好会館の完成などを祝って募ったもの。35歳以下の日本のアマチュアを対象とし、14歳以下の部、15~25歳の部、26~35歳の部と3つの年齢層に分けて募集、合計203点の応募があった。17名の入賞は、参加団体中最多で、栃木県は団体賞を受賞した。昨年11月には、浙江省の友好会館で、日本に先駆けて展示が行われた。

作品展では、上位入選作品を中心に、栃木県や浙江省関係の優秀作品を紹介。テーマが、絵画は日中友好、書画は浙江省出身の文人・蘇東坡の詩句類だったが、同じ題材でも、中国人と日本人ではとらえ方が異なり、描き方の違いも楽しめた。

栃木県での展示終了後、静岡県、福井県などでも展示会が行われた。



◀子供たちの力作が並ぶ

El Departamento de Salud y Bienestar de la Provincia de Tochigui ha confeccionado esta guía en japonés, español y portugués, en que se explican las causas, síntomas, tipos de exámenes, medicinas, sus efectos secundarios y cuidados cotidianos.

Podrá conseguir esta guía en los siguientes "Kenko Fukushi Center":

- Kensai ☎0289-64-3125
- Kento ☎0285-82-3321
- Ken-nan ☎0285-22-0302
- Kempoku ☎0287-22-2257
- Ansoku ☎0284-41-5900
- Utsunomiya-shi Hokenjo ☎028-623-1114

★ DISTRIBUIÇÃO GRATUITA DO GUIA DE "PRECAUÇÕES CONTRA A TUBERCULOSE"

O Dep.de Saúde e Assistência Social da prov.de Tochigi confeccionou este guia em japonês, espanhol e português.

O guia explica as causas, como se manifesta, o ressurgimento, tipos de exame, remédios e seus efeitos colaterais e cuidados cotidianos. Por último, contém um questionário que registra informações necessárias para o exame de tuberculose.

Este guia poderá ser encontrado nos seguintes "Kenko Fukushi Centa":

- Kensai ☎0289-64-3125
- Kento ☎0285-82-3321
- Ken-nan ☎0285-22-0302
- Kempoku ☎0287-22-2257
- Ansoku ☎0284-41-5900
- Utsunomiya Hokenjo ☎028-623-1114

情報発信 地域の国際交流案内

★2000年度ICYE交換プログラム

▶応募資格=①派遣の年の8月1日現在、16~30歳の男女(派遣国によって40歳まで)。②日本国内に居住する者(国籍不問)。③宗教、資格は問わない。④ICYEの理念に賛同し、異文化理解に興味と意欲があること。⑤現地の語の習得、ボランティア活動等に積極的に取り組む者。⑥交換プログラムなので、来日生のホストファミリーとなることに家族の合意が得られることが望ましい。▶派遣(予定)国=ボリビア、コスタリカ、ケニア、台湾、韓国、インド、バングラデシュ、イタリア、フィンランド、イスラム、ドイツ、オーストリア、デンマーク、フランス、スウェーデン、ニュージーランド▶応募提出書類=①ICYE参加申込書②学校在学中の者は校長又は指導教授(助教授)の推薦状1通。それ以外の者は親族以外の保証人の推薦状1通。規定のフォームなし。③最近の成績証明書④写真2枚(うち1枚は申込書に貼付)⑤課題作文(新聞から興味のある記事を選び、それについての自分の意見をB5サイズの400字詰め原稿用紙に横書きで5枚以内で書く。記事のコピーを同封すること。)▶選考方法=①一次:書類選考②二次:英語筆記テスト(リスニング含む)、個人面接、グループ面接(日本語・英語)、保護者面接▶募集期間=1999年8月1日から10月16日まで▶選考料=15,000円▶参加費用=中南米・アフリカ・アジアは950,000円。ヨーロッパ・オセアニアは1,250,000円▶派遣期間=1年間

▶問い合わせ、申し込み先=ICYE(国際キリスト教青年交換)日本委員会〒101-0053東京都千代田区神田美土代町7東京YMCA国際奉仕センター内☎03-3293-7011

★平成11年度ヨーロッパ農業事情視察研修 ヨーロッパの環境に優しい農業—統合農業とエコ農業ーを学ぶ

▶派遣先=オランダ・スイス・ドイツ
▶派遣対象者=農業関係者。あるいは農業・環境問題に興味を持つ20歳以上の男女。
▶派遣人数=25人(最小催人数15人)▶研修期間=1999年9月28日から10月7日まで
▶参加費用=530,000円▶申込締切=1999年8月13日(ただし、派遣人員に達し次第、締切)▶問い合わせ、申し込み先=(社)国際農業者交流協会〒144-0052東京都大田区蒲田5-39-2 明治生命蒲田駅前ビル6F☎03-5703-0253(情報交流課)ホームページアドレス<http://www.1.sphere.ne.jp/top-jaec/johoo/index.html>

★米国公立高等学校交換留学

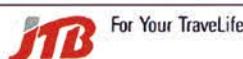
▶応募資格=出発時に15~18歳(18歳と8か月未満)の高校生または高専生。▶留学先=アメリカ、カナダ、オーストラリア、ヨーロッパ各国の公立学校。希望する留学先国に交換留学生として受け入れられる。国の選択は可能だが、地域の選択は不可。▶出願方法=①所定の参加申込書②選考料の銀行振込受領書(コピー可)③過去2年間の在学の成績証明書または通知表のコピー④写真2枚(3センチ×4センチ)。1枚は参加申込書に貼付)⑤作文「高校交換留学に期待すること」(日本語/B5レポート用紙2枚程度)▶選考方法=①書類審査②筆記試験(英語)及び人物面接▶選考料=15,000円▶募集期間=①アメリカ・カナダ・ヨーロッパ各国への留学は1999年6月1日から2000年2月9日まで②オーストラリアへの留学は2000年2月1日から7月12日まで(2000年2月出発分は1999年7月7日に締切済)▶問い合わせ、申し込み先=ナセル・オープンドア日本協会〒169-0075東京都新宿区高田馬場1-5-20☎03-3232-9345

月1日から2000年2月9日まで②オーストラリアへの留学は2000年2月1日から7月12日まで(2000年2月出発分は1999年7月7日に締切済)▶問い合わせ、申し込み先=ナセル・オープンドア日本協会〒169-0075東京都新宿区高田馬場1-5-20☎03-3232-9345

TIA日誌

1999年5月1日~1999年6月30日

- 5/8 栃木県海外移住家族会総会(センター)
5/14 日中青少年書画展(~16。栃木県総合文化センター1階ギャラリー)
5/21 TIA監査(センター)
5/26 第22回TIA評議員会(センター)
5/27 第26回TIA理事会(センター)
5/29 新規留学生ガイダンス(センター)及び懇親パーティー(ニューミクら)
6/2 国際交流団体連絡会議(センター)
6/3 海外技術研修員入国
6/4 海外技術研修員オリエンテーション
6/5 栃木県JICA専門家連絡会総会(センター)
6/6 海外技術研修員ホームステイ開始(~20)
6/8 海外技術研修員日本語講座開始
米国インディアナ州文化工芸団派遣実行委員会(センター)
米国インディアナ州産業交流調査団実行委員会(センター)
6/9 海外技術研修員県生活環境部長表敬(県庁)
6/12 栃木県青年海外協力隊OB会総会(宇都宮市冒険活動センター)
6/18 海外技術研修員県知事表敬(県庁)
*センター:とちぎ国際交流センター



デパート共通商品券

全国で使えるJTBの「ナイスショップ」。

全国のデパートで自由にお好きなものを選んでいただける、JTBのデパート共通商品券「ナイスショップ」。旅のJTBは全国に約1,200店もあるので、ちょっと思いついた時どこでも気軽に求めいただけます。すぐ近くで買えて、だれにでも贈れる「ナイスショップ」。便利で、みんなにうれしいプレゼントです。

●500円券 ●1,000円券 ●5,000円券の3種類

JTB宇都宮支店 028(622)1803

宇都宮市馬場通り1-1-8

印刷からテレビCMまで



必要なときに必要なだけ オンデマンド印刷機

インターネットのホームページ制作は当社へ!

株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷

〒321-0904 宇都宮市陽東5丁目9番21号
TEL 028-662-2511(代) FAX 028-662-4278
URL:<http://www.pto.co.jp/> E-mail:pto2@mx1.alpha-web.ne.jp

TIA Information Corner

★「日本・南西アジア青年フォーラム」参加者募集

外務省では、世界各国・地域から将来を担う青年を日本に招聘し、相手国の青年には日本の実情を直接見聞する機会を、日本青年には相手国への理解を深める機会を提供します。

▶日時=平成11年9月10日～12日▶場所=富士箱根ランド(静岡県田方郡函南町)▶内容=討論会及び交歓会(討論会のテーマは参加者に追って連絡)▶参加費用=外務省が負担。ただし、東京までの交通費は自己負担。▶募集人数=45名程度(応募者多数の場合は書類選考)▶応募資格=(①18歳以上35歳前後まで。②自分の意見が説明できる程度の英語力を有すること。▶申込方法=参加申込書に必要事項を記入し、写真2枚(うち1枚は申込書に貼付)と80円切手を同封の上、外務省まで郵送する。▶締切=平成11年7月26日必着▶その他=結果は後日連絡。参加決定者には8月21日に事前説明会を行う予定(別途連絡)▶問い合わせ、申し込み先=外務省アジア局南西アジア課〒100-8919東京都千代田区霞が関2-2-1 ☎03-3580-3311(内線2451)

★2000年度米国高等学校交換留学

▶留学期間＝2000年8月中旬から2001年6月中旬。留学期間中は一般アメリカ人家庭に滞在する。▶応募資格＝①留学出発時において、国公私立の高等学校又は高等専門学校に在籍し、かつ年齢15歳以上18歳以下の者で過去の成績（中学・高校）が提出可能な者。（ただし、1982年3月1日以降に出生の者）▶出願方法＝AYUSA International指定の銀行口座に選考料を出

○ソロモン諸島では、悪魔の存在がいまだに信じられており、学校内で物がなくなった時など「祈祷師を呼んで、犯人に呪いをかけてやる！」と言うと、翌日、盗まれた物がきちんと元に戻っていたりするそうです。人が倒れても「悪魔つき」かもしれないし、病院ではなく祈祷師のところに連れていかれたりするそうで、生徒の中にはこれを逆手にとって「仮病（けびょう）」ならぬ「仮悪魔つき（けあくまつき）？」を演じて授業をサボる子もいるようです。

○家族や部族のつながりが強いソロモン諸島では、子供がいじめられても年長者がかばうので、深刻ないじめ問題はないそうです。

※財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人（寄附金の損金算入等の課税特別措置）の認定を受けています。当協会の事業にご賛同下さる企業、団体等からのご出捐をお願いいたします。

願者名にて電信振込の後、必要書類を事務局まで郵送または持参すること。▶必要書類=①所定の出願書②課題作文（「私が交換留学プログラムに出願した理由」原稿用紙400字以上800字以内）③成績通知表のコピー：出願時中学3年生の者は中学1～3年分、高校1年生の者は中学3年～高校1年分、高校2年生の者は中学3年～高校2年分。▶選考方法=①英語能力テスト(G-TELP)②適性心理テスト③課題作文（日本語）④日本語及び英語による面接（保護者同伴）⑤書類審査（在学校成績表等）▶出願締切日=1999年7月28日、9月22日、11月2日、2000年1月12日、2月10日。▶募集定員=200名▶選考料=17,000円▶参加費用=1,050,000円▶問い合わせ、申し込み先=AYUSA International日本事務局〒105-0022東京都港区海岸1-9-11マリンクスタワー7F☎03-3434-2636▶その他=成績優秀者には、特待奨学生、準特待奨学生として参加費用の一部免除を行っている。特待奨学生の参加費用は450,000円、準特待奨学生は750,000円。

★スタディーツアー

▶派遣国=スリランカ▶内容=現地N G O活動の現場を直接訪問する。

▶応募資格=研修の趣旨を理解し、積極的に参加する意思を持つ18歳以上の者▶募集

国際交流団体連絡会議（6月開催）

- 1 平成11年度財団法人栃木県国際交流協会事業概要について
 - 2 平成11年度財団法人栃木県国際交流協会事業に係る関係事業について
 - 3 意見交換

人数=20名（最小催行人数10名。ただし、定員になり次第締切）▶問い合わせ、申し込み先=アジア交流研究所〒171-0014東京都豊島区池袋3-7-4 ☎03-5953-3749

第26回理事会・第22回評議員会（5月開催）における承認事項

- 1 平成10年度財団法人栃木県国際交流協会事業報告について
 - 2 平成10年度財団法人栃木県国際交流協会収支決算について
 - 3 財団法人栃木県国際交流協会副会長の委嘱同意について（理事会）
 - 4 財団法人栃木県国際交流協会役員の選任について（理事会）

TIA 贊助會員募集中

賛助会員になっていただきますと、TIAの機関紙、各種刊行物、催事情報等をお届けします。またテレビ方式変換ビデオ（海外→日本、日本→海外）をご利用できます。その他、会員証の提示により、指定店での割引等の特典もあります。年会費は個人3,000円、団体10,000円、法人30,000円です。

※賛助会費と出捐金の運用益は、TIAの様々な事業に使わせていただいており、地域の国際化のために役立っています。

＜新規賛助会員の方々＞

個人：中山茂樹様、山下昌美様、鈴木武司様、山中森光様、和氣由季様、石川信雄様、ロンガル・カーペンター様

団体：とちぎプロヴァンス協会様
～ご入会、ありがとうございました～

